

死産した赤ちゃんの剖検に関するご両親へのお知らせ

流産・死産は、大変に悲しい不幸な出来事です。期待と希望と夢が打ち砕かれ、人生が変わってしまいます。赤ちゃんの死を知らされた時、多くの両親はショックを受け、当惑するものです。生まれた赤ちゃんは死ぬはずがないと思っているからです。赤ちゃんの死というのは打ちのめされ、悲痛でどうしようもない気持ちになるものです。

この悲しい出来事に直面した方々の多くは、たくさんの疑問・質問をお持ちのことでしょう。数日・数週間間に重要な選択に迫られる場合もあります。こうした方々のために、政府その他の団体は、アドバイス等の様々な援助をご用意いたしております。ご希望の方は、病院のスタッフまたは介護士にご遠慮なくお尋ねください。さまざまな援助をご利用いただけます。介護士もアドバイスを提供できます。

本案内書は、死産に関する選択・決定事項について、あなたの決断を助ける目的で作成されています。

死産した赤ちゃんの剖検に関する選択・決定は、非常に困難なものとなりかねません。あなたご自身そしてご家族の方々にとって最も適した決断をなさることが大切です。あなたご自身とご家族の方々が将来どのように感じるかも考慮に入れる必要があります。剖検は死産の原因解明に貢献できるかどうか、特によくお考えください。病院のスタッフは、あなたがどのような決断をなさろうと尊重し、サポートを惜しむことはありません。

死産した赤ちゃんの剖検は、あなたご自身の同意があった場合にのみ行われます。

本案内書に記載された情報は、妊娠時から看護してきた医師・助産師またはカウンセラー、病院のソーシャルワーカーと話し合う際にお役立ていただけます。直ちに決定できない場合は、まず配偶者や家族、友人、宗教上の指導者などにご相談いただいても結構です。

剖検とは何でしょう？

剖検は検死とも呼ばれるもので、死後の人体に行う医学的検査を指します。通常この検査は医師が行います（通常、病理学者、または病理学者の監督の下、病理学の訓練を受けた医師）。病理学者とは、病気の医学研究を専門とする医師を指します。剖検は、赤ちゃんの身体に最高の敬意と注意を払って行われます。

剖検によって、どのような情報を得ることができるのでしょうか？

剖検は、全面的または限定的に行うことができます。それぞれの違いについては、医師より詳しい説明が行われます。

全面的な剖検では、以下の成果が得られる場合があります：

- ☞ 赤ちゃんの死因または死に至った病状に関する詳しい情報を明らかにするのに役立つ。
- ☞ 事前に疑われていた病状を裏付けたり、予期されていなかった病状を発見、またはそれらの可能性を排除する情報を提供する。病状が遺伝性だった場合、これらの情報はあなたとご家族にとって、将来重要なものとなり得る。
- ☞ あなたが将来再び妊娠した際に役立つ情報を、医療従事者に提供する。
- ☞ 赤ちゃんの兄姉または母親が将来再び妊娠した際に影響を与える可能性のある病状を認識する。
- ☞ 医師や看護師など、医療従事者が死産・流産に関する理解をより深め、将来他の母親や新生児のサポートに役立てることができる。

剖検を行うことにより、必ずしも死産の原因に関する疑問のすべてが明らかになるとは限りません。

限定的な剖検とはいったい何でしょう？

限定的な剖検では、外部検査のみ；または外部検査に加えて小さな細胞組織または血液の採取検査；または外部検査に加えて、限られた部分のみ内診が行われます。

限定的な剖検では、全面的な剖検ほどの情報を期待することはできません。また、予期されなかった症状は見逃される可能性があります。ただし限定的な剖検でも、数多くの貴重な情報を得ることができます。

剖検では、赤ちゃんにどういった検査が行われるのでしょうか？

剖検は、医師（通常は、病理学専門の医師）によって行われます。担当医師は注意深く医療記録を審査して、赤ちゃんに対して綿密な検査を行います。全面的な剖検では、身長・体重測定を含む入念な外部検査と内部器官の検査が行われます。死因を判断するための補助資料として、レントゲン検査および写真撮影が行われる場合もあります。

全面的な剖検は、あたかも新生児が手術を受けているかのように行われます。通常、医師は2カ所に切開を行います。一つは頭部後方で、もう一つは胴体前部です。これにより医師は、何らかの異常や死因の手がかりを見つけるために、主要臓器をすべて検査することができます。また通常は、顕微鏡検査のために細胞組織および体液の標本が採取されます。こうした標本は感染症の検査にも用いられますが、特殊な例として遺伝子検査に用いられる場合もあります。

場合によって医師は、さらなる検査のために特定の臓器全体（脳、心臓など）を体外に保管する場合があります。これは、最初の剖検では発見しにくい疾病および傷害の検査のために行われます。臓器を保管する必要性は、剖検を実際に開始するまで分からない場合があります。場合によっては、葬儀を若干延期していただくことにより、通常これらの臓器は、葬儀および埋葬（または火葬）までに体内に戻すことができます。これらの臓器をすぐに戻すことができない場合には、臓器は、別個の埋葬または火葬を行うためにあなたまたはあなたが指名された方にお返しするか、または代わりに公共保健機関

が法律に従い処分（この場合、通常は火葬処分）することができますので、ご希望の方法をご選択ください。これらの手順については、医師が詳しい説明を致します。

剖検が終了したら、どういう手続きがとられるのでしょうか？

検査が完了すると体の洗浄が行われ、切開が行われた部分はすべて縫合されます。ほとんどの場合、着衣後は剖検の形跡はあまり目立たなくなります。剖検が終了したら、通常、あなたおよびご家族の方々は、再び赤ちゃんを見たり抱いたりすることができます。ただし、肌の色や抱いたときの感触は生前とは異なります。こうした人体の変化は死後、自然に生ずるものであり、剖検の影響ではありません。

剖検に対して料金を支払う必要はありますか？

通常、剖検に対して料金をお支払いいただく必要はありません。しかし、何らかの費用が発生する可能性もありますので、剖検に同意される前に、有料かどうかについて医師または病院の代表と話し合われることが大切です。剖検が病院でなくあなたによって要請された場合には、病院から剖検を行う病院までの赤ちゃんの移送に伴う費用が請求される場合があります。赤ちゃんまたは保管された臓器の埋葬（または火葬）に伴う葬儀費用について援助が必要な場合は、病院または居住地のエリア・ヘルス・サービス（公共医療サービス）にお問い合わせください。

なぜ剖検の施行には同意が必要なのでしょうか？

赤ちゃんの剖検は、両親の同意なしには絶対に行うことができません。両親の同意は、法律で定められています。剖検の施行前には、必ず医療関係者が訪ね、あなたの同意を求めます。同意するかしないかの決定権は両親にあり、書面による同意が必要です。

剖検では、実の父母に関する遺伝子情報が明らかになる場合がありますので、同意書には、もう片方の親に異議があるかどうか明記される必要があります。

剖検および剖検目的で採取した組織の利用に関して、代理人に決定を下してほしいという方がいらっしゃるかも知れません。その場合は、別個に用意された専用の用紙にご記入いただくこととなります。この用紙にご記入いただくことにより、お子様の剖検に関する選択・決定が他人によって行われることをよくご理解いただく必要があります。

剖検に同意したら、次にどういった手続きがとられるのでしょうか？

両親の同意を得たら、病院はできる限り早急に剖検を行います。特殊な状況が疑われる場合は、適切な試験を速やかに行うために、死後間もなく細胞組織の標本を採取することが必要となります。こうしたケースでは、予め医師が両親と話し合いを行います。剖検が行われる前に赤ちゃんをご覧になりたい場合は、事前に医師または助産師にその旨お伝えください。その場合は、剖検の施行を若干遅らせることができます。ただし短期間遅らせることは可能ですが、剖検の施行は48時間以内に行うことが望ましいとされています。

剖検の結果はいつ知らされますか？

仮の剖検報告書は、検査から数日後にご覧いただくことができますが、特定の検査結果については、12週間かかる場合がありますので、最終報告書は、こうしたすべての検査結果が明らかになってから作成されます。

剖検報告書は主介護者、かかりつけの医師、または報告書について詳しく説明できる他の医師からお受け取りいただくことができますが、どの経路でお受け取りいただくのが最も適切か、よくお考えいただくことが大切です。報告書には専門用語が用いられている可能性がありますので、あなた自身およびご家族への影響などについて話し合えるように、上記医師のいずれかと予約をとられるようお勧めいたします。

治療、医学および科学目的による臓器・細胞組織の保管および使用

医療関係者が剖検の同意を求める際、同時に、剖検以外の理由（調査研究、医学または治療目的など）により、お子様の臓器または細胞組織を使用する許可を求める場合があります。

こうした理由による臓器・細胞組織の保管にご同意いただいた場合、これらの臓器・細胞組織は、かかる目的に必要なと考えられる期間だけ保管されます。臓器・細胞組織の保管期間については、当該研究プロジェクトについての具体的情報内に説明されていますが、さらに詳しい情報は、担当の医療関係者にお尋ねいただくことができます。

治療、医学、または科学目的による臓器・細胞組織提供への同意は任意です。こうした目的による臓器・細胞組織の保管または使用に同意することなく、剖検のみにご同意いただくこともできます。ご同意いただいた場合も、剖検の目的で採取される組織のみが保管・使用の対象となります。剖検の目的で採取された以外の臓器・細胞組織が取り出されることはありません。

さらに詳しい情報および、辛い時期を乗り越えるためのサポート

この他にも何かご質問をお持ちの方は、医師または助産師、剖検コーディネーター、ソーシャルワーカーにお尋ねください。医療従事者は、両親およびご家族の方々がこうした辛い時期を乗り越えるために支援できる団体の詳細を提供することができます。

SIDSおよびKids NSW (SANDSと統合) は、新生児を亡くされたご家族の方々を支援する団体です。連絡先は、TEL: 02 9818 8400、フリーダイヤル: 1800 651 186です。また、ウェブサイト: www.sidsandkids.org より情報をお求めいただくこともできます。

要約

剖検は、赤ちゃんの死因を明らかにし、また将来の妊娠時のために、治療可能な症状や遺伝性の疾患を取り除くために役立つ可能性をもつ医学検査です。

剖検についてさらに疑問・ご質問をお持ちの方は、医師または助産師、ソーシャルワーカー、宗教上の指導者、ご家族の方などとお話し合いいただくようお勧めいたします。

全面的な剖検をご希望でない場合は、担当医師とご相談ください。その他の試験でも、死因について十分な情報が得られる場合があります。

- 剖検は、書面による両親の同意なしに行うことはできません。
- 同意があった場合、病院はできる限り速やかに剖検を行います。通常は、死後48時間以内に行われます。
- ご希望であれば、両親およびそのご家族の方々は、剖検の終了後に赤ちゃんを見たり抱いたりすることができます。
- 検査結果の報告書は、通常6～12週間以内に担当医師に送付されます。

連絡先：

検死コーディネーター _____

電話番号 _____

担当医師 _____

電話番号 _____

ソーシャルワーカー _____

電話番号 _____

牧師・司祭 _____

電話番号 _____